

2012 年 7 月 9 日 / 9 July 2012

なぜ今、企業が社会イノベーションに取り組むのか ー未来を予見し、セクターの壁を越えることによる社会的価値の創造ー

Why are Corporations Working for Social Innovation? -Creating social value through collaboration across sectors -

主催: ブリティッシュ・カウンシル、NPO 法人 ETIC.

協力: 公益財団法人日本財団、株式会社富士通研究所、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM)、
株式会社損害保険ジャパン、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社

Organised by the British Council and ETIC.
with support from the Nippon Foundation, Fujitsu Laboratories Ltd.,
the International University of Japan, the Centre for Global Communications (GLOCOM)
Sompo Japan Insurance Inc. and Unilever Japan Holdings K.K

概要

現在我々を取り巻く国際的な社会的、環境的課題はより複雑化、多様化しており、もはや企業や行政、その他の組織が単体では解決できない状況となっています。この現状を変え、社会イノベーションを通して新たな社会的価値を創造するためには、セクターを超え対話をし、協働する事が求められています。

第一部では、今年 2 月に開催した「社会イノベーションを創出するビジネスリーダーのための英国スタディーツアー」※1の成果をもとに、「なぜ、ビジネスセクターが社会イノベーションの創出にとりくまなければならないのか」という問いを中心に、基調講演とパネルディスカッションを実施します。将来起こりうる社会的課題に焦点をあて、社会イノベーションを包括した企業戦略をたてることや、革新的な活動を展開するソーシャル・エンタープライズやNPOなど、多様なステークホルダーと対話を通じた協働を進めることの重要性を、事例を交えて共有します。

第二部では、異なる 3 つのテーマで分科会を実施します。私たち個人、またそれぞれの組織が、社会イノベーションを創出するエコシステムの中でどのような役割を持ち、次へのアクションへとつなげる事ができるのかという問いについて、ワークショップを通して共有知を広げます。

本フォーラムでは、英国スタディーツアーで得た知見をより広く共有し、本テーマに興味を持つ方々の間で更に議論を深め、取り組むべき未来へ向けたアクションを共に考える機会となれと思います。

撮影について Photo/Video shooting

本日はカメラマン、及びビデオクルーによる撮影が入っております。本フォーラムの様子は後日、主催者のウェブサイトとフェイスブック、ツイッターでも公開します。撮影に当たり、差しさわりのある場合は、お近くのスタッフにお伝え下さい。

Today we are having camera crews with us for photo and video shooting. These photos and videos will be uploaded to the web site, Facebook page and Twitter. If you prefer not to be taken/used your photo/video, please do let the staff know.

■第一部

13:00 - 13:10 主催者挨拶

ヒュー・オリファント [ブリティッシュ・カウンシル 社会・英語教育事業部 部長]
町井 則雄 [日本財団 経営支援グループ CSR企画推進チームリーダー]

13:10 - 13:30 基調講演

「社会イノベーションの未来」“The Future of Social Innovation”

世代間アプローチを用い、企業における社会的責任の進化発展、時代の変化に対応できる革新的アプローチの必要性などを議論していきます。社会イノベーションの本質や、現役世代と将来世代のどちらにもフィットする未来を構築していくために企業はどのように社会イノベーションを取り入れていけるのか、などについても語ります。

<スピーカー>

アマンダ・フェルドマン [Volans エンゲージメント・マネージャー]

13:30 - 15:00 パネルディスカッション

「セクターを超え、社会イノベーションの創出へ - 変容するビジネスの役割」

<パネリスト> *敬称略、登壇予定順

アマンダ・フェルドマン [Volans エンゲージメント・マネージャー]

伊藤 征慶 [ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 ヘッド・オブ・コミュニケーション]

市川 アダム博康 [株式会社損害保険ジャパン CSR・環境推進室 室長代理]

<モデレーター>

宮城 治男 [NPO 法人 ETIC. 代表理事]

15:00 - 15:15 休憩

■第二部

15:15 - 18:00 分科会

〔分科会 1〕（分科会 1 は、Futures^{※2}の一環として開催いたします。）

Futures: Inspiring Social Innovation - 社会イノベーション x サクセスフル・エイジング-

あなたにとっての「サクセスフル・エイジング」とは何ですか？このセッションでは「サクセスフル・エイジング」に焦点をあて、ダイアログを通して、参加者全員でこれからの高齢化社会を考え、社会イノベーションへ向け、私たちがとるべきアクションを導き出します。

ファシリテーター: 野村恭彦 [国際大学 GLOCOM 主幹研究員、株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役社長]

主催: ブリティッシュ・カウンシル、株式会社富士通研究所、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM)

〔分科会 2〕

被災地から日本の未来を考える -被災地の課題と住民が主役のコミュニティづくり-

東日本大震災により、三陸地方沿岸部のコミュニティでは、これまで埋もれていた様々な社会課題が表出しました。本ワークショップでは、石巻市牡鹿半島の漁村に暮らすお母さん達による手仕事ブランド「OCICA」など、地域の方々が主役の事業をつくる「一般社団法人つむぎや」代表の友廣裕さんをお招きし、自立したコミュニティづくりについて対話を進めることで、共有知を深めます。

スピーカー: 一般社団法人つむぎや代表 友廣裕一

ファシリテーター: NPO法人ETIC. 山内亮太

主催: NPO 法人 ETIC.

〔分科会 3〕

社会イノベーション x 社会との共感共有

このセッションでは社会イノベーションを多くの人に知ってもらいと共に共感を持ってもらうにはどのようなことが必要なのかに焦点をあて、ダイアログを通して社会イノベーションを社会に広く浸透させていくためのアクションについて、参加者全員と共に考えていきます。

ファシリテーター: 町井 則雄 [日本財団 経営支援グループ CSR企画推進チームリーダー]

主催: 公益財団法人日本財団

■レセプション

18:05 - 20:00

※ 基調講演及びパネルディスカッションには日英の通訳が入ります。

※ 分科会は全て日本語で行われます。

アマンダ・フェルドマン [Volans エンゲージメント・マネージャー]

Amanda Feldman, Engagement Manager, Volans

英国で社会イノベーションの創出支援を手がける組織 Volans のエンゲージメント・マネージャー。企業や行政、社会起業家らと連携のもと、社会イノベーション戦略の構築にたずさわる。未来に対する準備度合いを測る未来指数「Future Quotient」レポートや、新しいタイプの社会イノベーターに焦点をあてたジョン・エルキントン著「ゼロの時代」(原題: The Zeronauts、2012 年 5 月刊)など、Volans のリサーチ活動にも積極的に寄与しているほか、ソーシャル・エンタープライズや公衆衛生政策、若者による啓蒙活動などを通して得た自身の経験を Volans でも活かしている。衛生、貧困、教育に関するグローバル・サービス・プロジェクトを立ち上げた若手ボランティア・グループ、NPO ピア・パートナーズ (Peer Partners) の創設者。ペンシルバニア大学卒業、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス行政学修士。
www.volans.com

伊藤 征慶 [ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 ヘッド・オブ・コミュニケーション]

Seikei Itoh, Head of Communications, Unilever Japan Holdings K.K

1988 年 4 月、ニッポンリーバ BV(当時)に入社。英国本社への出向を経て、1992 年ブランドマネージャーに就任し、パーソナルケア、ホームケアブランドのマーケティングに携わる。1999 年にはダヴを日本市場に導入し、洗顔料市場での No.1 ブランドとした。翌 2000 年にはマーケティングマネージャーヘアケアに就任し、ダヴをヘアケア市場にも展開。シャンプー & コンディショナー市場での企業シェア No.1 獲得に貢献した。その後、リージョナルマーケティングマネージャーとして、同社初の男性化粧品ブランド AXE の立ち上げをリードした。2006 年には、コミュニケーションダイレクターに就任。以降、プレジデント & CEO のビジネスパートナーとして、企業広報およびサステナビリティへの取り組みを統括。東日本大震災後は全社をあげての緊急支援・復興支援活動も主導している。2012 年より現職。
www.unilever.co.jp

市川 アダム博康 [株式会社損害保険ジャパン CSR・環境推進室 室長代理]

Hiroyasu Adam Ichikawa, Senior Deputy Manager, Corporate Social Responsibility Office, Sompo Japan Insurance Inc.

アメリカ、ワシントン D. C. 生まれ。高校時代は英国キング・エドワード VI 世高校に留学、英国ノッティンガム・トレント大学環境学部を経て、1999 年横浜市立大学商学部経営学科卒。2000 年に損保ジャパン入社。千葉県と長崎県で自動車保険や火災保険などの保険金をお支払いするサービスセンター部門に所属。2010 年 4 月から CSR・環境推進室にて、CSR コミュニケーション、CSR・環境マネジメントシステム (ISO14001) に基づく CSR の取り組みの企画・立案を担当。
www.sompo-japan.co.jp

宮城 治男 [NPO 法人 ETIC. 代表理事]

Haruo Miyagi, Executive Director, ETIC.

NPO 法人 ETIC. 代表理事。起業家型リーダーの輩出と社会にイノベーションを生み出すことを目指し、ベンチャー企業や社会起業家への長期実践型インターンシップ事業等に取り組む。2002 年より日本初のソーシャルベンチャー向けビジネスプランコンテストを開催するなど、社会起業家の育成、輩出にも取り組む。現在は全国各地での若者のチャレンジと地域変革に取り組むプロデューサーの輩出、支援にも注力。早稲田大ビジネススクール非常勤講師、地域活性化伝道師、2011 年世界経済フォーラム Young Global Leader に選出。
www.etic.or.jp

参考

※1 「社会イノベーションを創出するビジネスリーダーのための英国スタディーツアー」について

ブリティッシュ・カウンシルは、NPO 法人 ETIC.、および英国で社会イノベーションの創出支援を手がける組織、Volans と共に、今年 2 月に日本の企業の方々を対象とした「社会イノベーションを創出するビジネスリーダーのための英国スタディーツアー」を実施しました。ツアーでは、企業を始め、様々なセクターのプレーヤーと交流し、社会イノベーションの重要性や協働の必要性について議論しました。お手元に配布した報告書の PDF 版はブリティッシュ・カウンシルの公式ウェブサイトからダウンロードしてご活用いただけます。

※2 「Futures: Inspiring Social Innovation – across sectors, across borders –」について

Futures とは、企業が多様なプレーヤーとの対話と協働を通して、社会的課題解決の実現を継続的に促すことを目指した、国際的な社会イノベーションプラットフォームです。日英共通の社会的課題を毎年のテーマに選び、毎年 5 回のフューチャーセッションと英国スタディーツアーを開催し、日英の様々な分野のプレーヤーたちの連携や協働から創出される社会イノベーションにむけたアクションを促すことで、日英両方がよりよい社会へと向かっていくことに貢献します。2012 年度の Futures のテーマは「高齢化社会」、活動の最新情報は Futures フェイスブックページより随時発信します。

■詳細はいずれも、ブリティッシュ・カウンシルの公式ウェブサイト内「社会起業分野に関する活動」からご確認いただけます。
www.britishcouncil.or.jp

Outline

We currently face global social and environmental challenges that demand collaborative responses. As a result, there is a growing need to build strong relationships and meaningful dialogue across corporate, civil and government sectors to promote social innovation to meet these challenges.

For corporations, engagement with civil sector representatives, such as social enterprises and community groups who have expertise and extensive networks on particular social issues, offers opportunities for the development of more effective products, services, technologies, processes or ideas. The inclusion of social issues and social innovation in the long-term vision and business strategy of corporations is essential for the sustainable and prosperous future of corporations.

The Forum- *Why are Corporations Working for Social Innovation?*- follows on from a study tour of Japanese representatives to the UK in February 2012 organised by the British Council, Entrepreneurial Training For Innovative Communities (ETIC) and Volans which looked at latest thinking on social innovation in the UK, and shared examples of multi-stakeholder approaches for creating social innovation.

Through this Forum, with representatives attending from corporations, civil, public and academic sectors, we bring this discussion on social innovation back to Japan, and through the presentations and workshop sessions offer you a platform to consider how social innovation approaches can contribute to the design of better futures for us all.

Programme

Part 1 Presentation Session

13:00-13:10 Opening remarks from organisers

13:10-13:30 **Keynote speech: [The Future of Social Innovation]**

<Speaker> Amanda Feldman, Engagement Manager, Volans

Using an intergenerational lens, Amanda Feldman will discuss the evolution of social responsibility in the private sector, and the need for innovative approaches in the challenging years ahead. What is social innovation, and how can companies embed it in order to build a future fit for this generation and those to come?

13:30-15:00 **Panel discussion**

[Working across Sectors for Social Innovation – the Evolving Role of Business]

<Moderator> Mr. Haruo Miyagi, Executive Director, ETIC.

<Panellists> Ms. Amanda Feldman, Engagement Manager, Volans

Mr. Seikei Itoh, Head of Communications, Unilever Japan Holdings K.K

Mr. Hiroyasu Adam Ichikawa, Senior Deputy Manager, Corporate Social Responsibility Office, Sompo Japan Insurance Inc.

Part 2 Workshop Sessions:

15:15-18:00 **[Workshop session 1] Futures – Inspiring Social Innovation**

Social Innovation x Successful Aging

Using future centre methodology and tools, participants will have an opportunity, while interacting with different sector representatives, to discuss and engage in future thinking on the theme of “successful aging”

※ Futures represents a new platform for social innovation, bringing together representatives from corporate, civil, public and academic sectors to facilitate innovative thinking and solutions for tackling social issues through dialogue and collaboration across sectors.

Session organised by the British Council, Fujitsu Laboratories, International University of Japan, GLOCOM

[Workshop session 2] Considering Japan’s Future from the Disaster Area- Challenges of Creating a Citizen-centred Community

The Great East Japan Earthquake has highlighted various social issues previously hidden. This workshop aims to deepen the shared knowledge of corporations and entrepreneurs for creating independent communities. Mr. Yuichi Tomohiro will speak about his organisation *Tsumugiya*, which is responsible for various projects to create income and communication opportunities in the disaster area including OCICA, which produces handmade goods by fishermen’s wives who live in Oshika in Miyagi prefecture.

Session organised by the ETIC

[Workshop session 3] Social Innovation x Sharing Experiences from Society

This workshop through a dialogue approach provides an opportunity to deepen awareness of the importance of social innovation for society, and to understand how to promote social innovation through action.

Session organised by the Nippon Foundation

※ English – Japanese interpretation is available for the keynote speech and panel discussion.

※ All the workshop sessions will be delivered only in Japanese